

キャリア・パスポートは、書いて終わりにしません。

キャリア・パスポートを“書いて終わり”にしない使い方シート

キャリア・パスポートは、
学んだこと・気づいたこと・次にやってみ
たいことを
次の学びにつなぐ記録です。

大切な3つの流れ

- 経験する
- 振り返る
- 次へつなぐ

「書くこと」自体を目的にするのではなく、
授業・体験・面談をつなぎ、次の一步を考えるために
使います。

出所：文部科学省「キャリア・パスポート例示資料等について」「小学校キャリア教育の手引き」「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」を参考に整理

授業・体験・面談をつなぐと、記録が生きます。

使う場面を分けて考える

授業で使う

- 授業後に「分かったこと」「気になったこと」を残す
- 教科や学級活動の学びを見直す

体験で使う

- 職場体験や地域連携の前後で使う
- 体験前の問いと体験後の気づきをつなぐ

面談で使う

- 三者面談や進路面談で振り返る
- 本人の言葉で「次」を確かめる

一つの場面だけで終わらせず、複数の場面をつなぐことで「書いた意味」が見えやすくなります。

書く前に問いを置くと、振り返りが深まります。

書かせる前の一言を準備する

授業の後

- 今日、分かったことは？
- もっと知りたいことは？
- 次に試したいことは？

体験の後

- 印象に残ったことは？
- なぜ気になった？
- 自分とのつながりは？

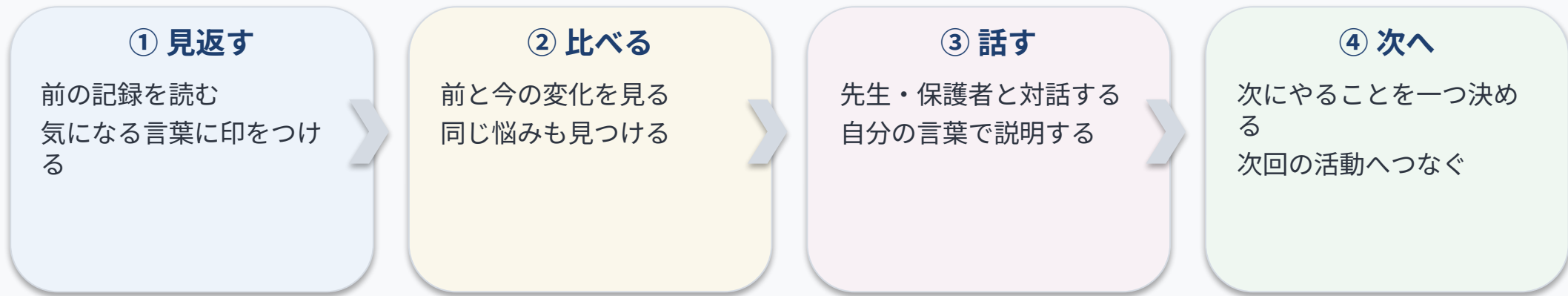
面談の前

- 最近の記録で共通することは？
- 次に話したいことは？
- 今の不安は何？

書く欄だけを渡すより、短い問いを添える方が、こどもの言葉が出やすくなります。

見返して次へつなぐと、キャリア・パスポートが動き出します。

「書いた後」の使い方



キャリア・パスポートは「ためる箱」ではなく、見返し、比べ、話し、次へつなぐための道具です。

まずは一つの授業から、使い方を試してみませんか。

初回相談 30 分無料

使い始めのポイント

- まだ何を記録するかを決めていなくても OK
- 授業・体験・面談のどこで使うかを相談できます
- 初回相談 30 分無料

相談窓口：toi.manabi@gmail.com（資料番号を添えて相談できます）



その後は支援範囲と費用を確認し、お見積もりします。

書いて終わらせず、一緒に次へつなげます。